

平成29年度決算について

学校法人駒澤大学の平成29年度決算は、監事および公認会計士の監査を経て、平成30年5月31日の理事会・評議員会において承認されました。

①資金収支について

【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は281億3,846万円となりました。主な項目は学生生徒等納付金収入158億8,147万円。入学検定料などの手数料収入11億6,624万円。駒澤大学開校130周年記念棟建設寄付金、教育後援会・同窓会等の後援団体、KUサポート等からの寄付金収入3億8,870万円。国や地方公共団体からの補助金収入15億6,607万円。私学退職金財団等交付金などの雑収入11億8,141万円。授業料・入学金等の前受金収入75億4,628万円。各種引当特定資産取崩等のその他の収入86億7,467万円。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計は、438億3,684万円となりました。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金を除いた当年度支出は290億419万円となりました。主な項目は人件費支出110億2,273万円。教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出45億7,957万円。教育・研究を間接的に支援する管理経費支出8億4,723万円。日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等への借入金等返済支出10億8,749万円。駒澤大学開校130周年記念棟建設工事、祖師谷寮・野球場再整備事業工事、至道寮・国際交流館アネックス取得、駒澤大学附属苫小牧高等学校生徒寮建設用地取得及び講堂棟耐震改修工事等の施設関係支出62億4,346万円。駒澤大学開校130周年記念棟AV教場装置、放射線治療トレーニングシステムなどの各種システム等教育研究等に要する機器備品や図書などの設備関係支出12億5,436万円。各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出40億88万円。これらに資金支出調整勘定、翌年度繰越支払資金等を加えた支出の部合計は、438億3,684万円となりました。

②活動区分資金収支について

【教育活動による資金収支】

教育活動による資金収支は、キャッシュベースでの本業の教育研究活動の収支状況を表しています。学生生徒等納付金収入、手数料収入のほか、施設設備整備以外の特別寄付金収入や経常費等補助金収入などの教育活動資金収入計199億8,024万円から人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などの教育活動資金支出計164億4,800万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等4億8,258万円を引いた教育活動資金収支差額は、30億4,965万円のプラスとなりました。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動による資金収支は、施設設備の取得・売却等の活動に関する収支状況を表しています。施設設備補助金や施設設備寄付金、駒澤大学開校130周年記念棟建設工事費に充当する第2号基本金引当特定資産取崩収入などの施設整備等活動資金収入計67億5,392万円から施設関係支出、設備関係支出、第2号基本金引当特定資産等の再組入・積

み増しによる繰入支出などの施設整備等活動資金支出計 87 億 9,783 万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等 7,067 万円を加えた施設整備等活動資金収支差額は、19 億 7,323 万円のマイナスとなりました。

【その他の活動による資金収支】

その他の活動による資金収支は、借入金の収支、資金運用の状況等の財務活動、預り金等の受け払い等の経過的な活動に関する収支状況を表しています。借入金等収入、受取利息・配当金収入、退職給与引当特定資産等の有価証券償還に伴う取崩収入などその他の活動資金収入計 19 億 2,518 万円から借入金等返済支出、預り金支払支出、退職給与引当金等の再組入・積み増しによる繰入支出などその他の活動資金支出 38 億 7,791 万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等 1,057 万円を加えたその他の活動資金収支差額は、19 億 4,214 万円のマイナスとなりました。

教育活動による資金収支差額、施設整備等活動による資金収支差額、その他の活動による資金収支差額の収支差額を合計した結果、支払資金は前年度より 8 億 6,572 万円減少し、翌年度繰越支払資金は 148 億 3,264 万円となりました。

③事業活動収支について

【経常収支】

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの教育活動収入計 199 億 8,320 万円から人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計 180 億 1,319 万円を差し引いた教育活動収支差額は 19 億 7,000 万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち 18 億 4,482 万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。受取利息・配当金による教育活動外収入 2 億 1,156 万円から借入金利息による教育活動外支出 7,185 万円を差し引いた教育活動外収支差額は 1 億 3,970 万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計で、21 億 971 万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時的な収入・支出です。有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計 9 億 2,478 万円から資産処分差額、退職給与引当金特別繰入額などの特別支出計 24 億 7,733 万円を差し引いた特別収支差額は 15 億 5,254 万円の支出超過となりました。

なお、退職給与引当金特別繰入額は平成 23 年度から 10 年間で繰り入れることとしていましたが、財政状態の早期健全化を図るため本年度に未処理額を一括繰入しました。

【収支差額】

経常収支差額と特別収支差額の合計額である基本金組入前当年度収支差額は 5 億 5,716 万円の収入超過となり、ここから基本金組入額 21 億 571 万円を差し引くと、平成 29 年

度の当年度収支差額は、15億4,854万円の支出超過となりました。

この結果、翌年度繰越収支差額は193億3,083万円の支出超過となりました。

なお、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の事業活動収入の部を合計した事業活動収入計は211億1,955万円、事業活動支出の部を合計した事業活動支出計は205億6,238万円となりました。

④貸借対照表について

【資産の部】

有形固定資産は、土地取得や駒澤大学開校130周年記念棟・硬式野球部寮等の建設により55億4,033万円増加しました。特定資産は退職給与引当特定資産や建設準備引当特定資産が繰り入れにより増加したものの、計画に従い第2号基本金引当特定資産を取崩したことなどにより35億3,778万円減少しました。その他の固定資産は差入保証金が増加したものの、長期前払金や長期貸付金の減少により572万円減少しました。流動資産は、私学退職金財団等交付金の未入金等で増加したものの、現金預金等の減少により5億6,402万円減少しました。その結果、前年度より14億3,281万円増加し、資産総額は991億9,011万円となりました。

【負債の部】

固定負債は、借入金を約定どおり返済し長期借入金等が減少したものの、退職給与引当金特別繰入額の未処理額を一括繰入したことにより9億8,219万円増加しました。流動負債は前受金の減少により1億655万円減少しました。その結果、前年度より8億7,564万円増加し、負債総額は225億2,943万円となりました。

【純資産の部】

基本金総額は前年度より21億571万円増加し、959億9,151万円となりました。翌年度繰越収支差額は、当年度収支差額が15億4,854万円の支出超過となったことにより193億3,083万円の支出超過となりました。その結果、純資産は前年度より5億5,716万円増加し、766億6,068万円となりました。